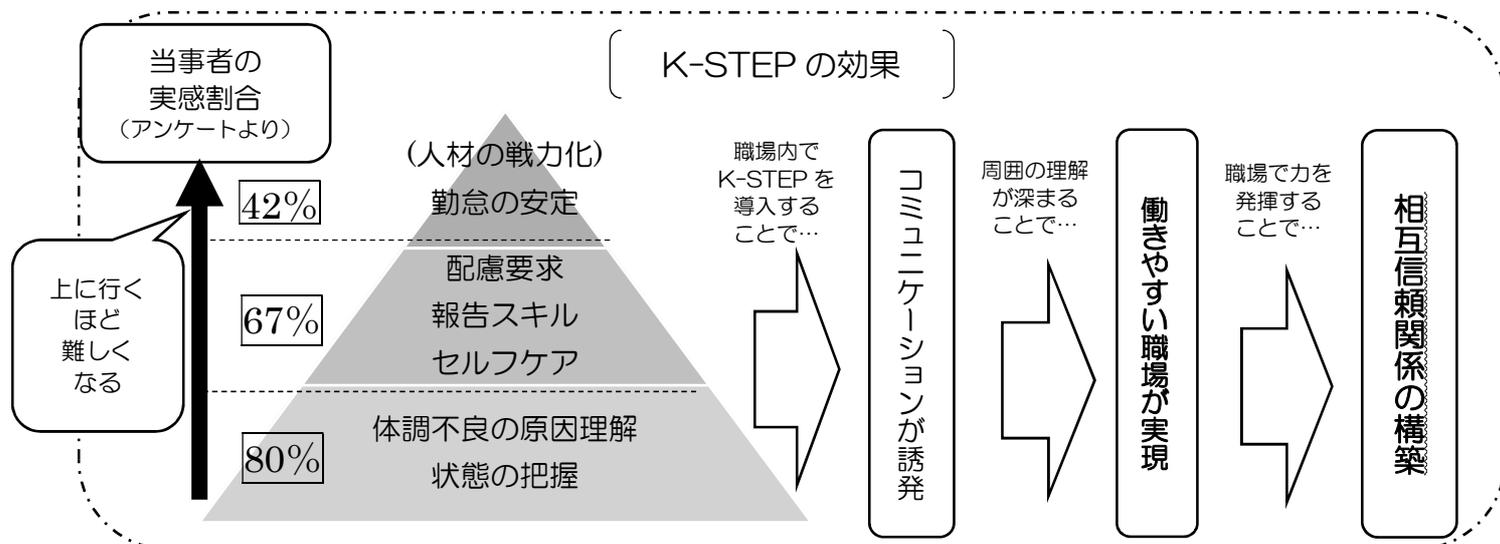


## 1、実績調査

平成 30 年 12 月末の K-STEP 導入実績は以下の通りとなった。



## 2、当事者アンケート



アンケート結果を見るとピラミッドの上に行くほど、習得が難しくなっています。就労支援機関の皆様におかれましては、これらのスキル習得をサポートしていただきますようお願いいたします。

## 3、導入調査

調査の結果、事業所内導入率の高い事業所には3つ特徴があるとわかった。

### ①事業所全体で目的を共有している

- 職場の支援者全員で導入目的を共有している
- 事業所全体で K-STEP の提案に取り組んでいる

### ②就職後も見据えた取組をしている

- 就職後の継続活用を見据えて導入している  
⇒どこをゴールに導入するかで当事者の継続意欲は変化する

### ③様々な場面で K-STEP を活用している

- シートの報告以外の場面でもシートを活用している  
⇒ 普段の面接で見えてきた体調のサインやセルフケア手法をシートに落とし込む
- 月末の振り返りに K-STEP を活用する
- 体調管理プログラムを K-STEP 導入（継続）プログラムに充てる、等

## 当事者アンケート（結果）

就労移行支援事業所通所者 24 名にアンケートを依頼。

そう思う ・ ややそう思う ・ どちらとも言えない  
 あまりそう思わない ・ そう思わない

番号	質問	「そう思う」 「ややそう思う」	「どちらとも 言えない」	「あまり そう思わない」 「そう思わな い」
①	自分の体調の良い時や悪い時にで るサインがわかるようになった	79%(19)	17%(4)	4%(1)
②	現在の体調を説明できる ようになった	83%(20)	13%(3)	4%(1)
③	自分の体調が悪い時、 その原因がわかるようになった	75%(18)	17%(4)	8%(2)
④	体調の安定や維持のために セルフケアができるようになった	67%(16)	17%(4)	17%(4)
⑤	主治医に自分の体調を 伝えられるようになった	67%(16)	25%(6)	4%(1)
⑥	支援者に最近の自分の状況や 現在の体調を正確に伝えることが できるようになった	67%(16)	25%(6)	8%(2)
⑦	支援者に相談や配慮を 求めやすくなった	67%(16)	25%(6)	8%(2)
⑧	就労移行支援事業所での 遅刻や欠席、早退が減った	42%(10)	33%(8)	21%(5)

(人数)

番号	質問	選択肢	該当事業所数	事業所内導入率
①	職場の支援員全体で導入目的を共有している	○	57	39%
		×	7	13%
②	職場・法人内で研修、勉強会を実施している (行政主催研修の報告含む)	○	39	36%
		×	25	36%
③	特定の支援員が中心となって利用者にK-STEPの提案している	○	50	29%
		×	14	55%
④	提案方法	プログラムや説明会	8	49%
		個別面接	24	18%
		プログラム&面接	9	13%
		利用者状況に応じて	25	17%
		その他	1	100%
⑤	目的の説明時、最も重視する内容	体調・障害特性の把握	39	16%
		セルフケア・リハビリ習得	20	18%
		体調等の報告練習	6	15%
		コミュニケーションツール	11	67%
		その他	1	95%
⑥	提案の対象者 (複数回答可)	体調や障害特性の理解に課題	33	13%
		体調管理・セルフケアに課題	46	12%
		体調等の報告スキルに課題	24	13%
		その他の課題	4	48%
		全員一律に提案	15	86%
⑦	シートのアレンジ	○	57	38%
		×	7	9%
⑧	シートの報告 (頻度・方法)	毎日数回	8	61%
		毎日1回	30	28%
		定期面接	20	7%
		毎日提出	5	72%
		定期提出	1	23%
		受けていない	3	24%
⑨	シートの報告以外の場面でもシートを活用している	○	46	39%
		×	18	27%
⑩	就職後の活用を見据えて導入している	○	48	44%
		×	16	19%